



子どもの森づくり通信

NPO法人
子どもの森づくり推進ネットワーク
子森ネット・定期刊行
(2010年12月・2011年1月合併号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-morinet E-mail:info@kodomonono-morinet

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

2011年、あけましておめでとうございます。

今年は、国連で定める「国際森林年」の年で、世界中で森林育成の気運が高まります。

「子どもの森づくり運動」も、この機会にさらに大きく展開を図りたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



2011・国際森林年

(2011・「国際森林年」公式ロゴマーク)

(目次)

1. 「子どもの森づくり運動」第一期活動をふり返って
2. 「子どもの森づくり活動」第二期活動計画案
3. 事務局からのお知らせ
 - (1) 「エコプロダクツ2010」レポート
 - (2) 植樹フィールド調査アンケートご協力のお願ひ
 - (3) 「ていばく」出展のご案内

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼少期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JPN子どもの森づくり運動」とは

2008年より、日本郵政グループの特別協賛を得、都道府県に一園一事業、全国に普及活動の拠点づくりを目指すフラグシップ事業「JPN子どもの森づくり運動」を展開します。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会
(社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C富良野自然塾
全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会
(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



1. 「子どもの森づくり運動」第一期活動をふり返って

“木を植えて、子どもの心を育む”をテーマに、2008年から全国の幼稚園、保育園のみなさんと共に、日本郵政グループさんのご支援の中で活動を進めてまいりました「子どもの森づくり運動」も、2011年の3月で、第一期3年間の終了です。その間、各都道府県に1園（東京は2園）のフラグシップ園全国ネットワークを構築するという大きな成果をあげさせていただきました。対外的にも、活動におけるテーマのリアリティーと方法の戦略性において、各所より注目され、その活動の輪が大きく広がりました。これからも、さらに活動を大きく展開してまいりたいと思っております。



ところで、そもそも今何故「子どもの森づくり運動」なのでしょう。

この区切りの時期に、あらためて確認してみたいと思います。

ご存知の様に幼少期の子どもたちは、自然体験活動に代表される五感に訴求する本物の体験の中で、子ども本来の「生きる力」、そして21世紀環境の時代を生きる子どもたちにとって今や必須となる「環境意識」など、子どもたちの未来にとって重要な資質の基盤がこの時期に培われるといわれています。しかしながら、今、子どもたちの日常は、大きな都市化の流れと共にこれまで経験したことのない急激な情報化の中で、その多くをデジタル環境に覆われリアルな体験から遠ざけられてしまいました。

「子どもの森づくり運動」は、そんな子どもたちの現状を踏まえて、子どもたちが幼少期の多くの時間を過ごす幼稚園、保育園の日常の中で、「種を拾って」「苗木に育て」「植える」という3年間に渡る一貫した森づくり活動を通じて、自然と環境、そして命の体験の場を提供すること、そして、活動をそれぞれの園の行事として継続してもらうこと、さらに、園のネットワークを通じて活動の輪を広げてもらうことを目指してスタートしました。

これまで活動に関わっていただいている幼稚園・保育園の先生や保護者の方から、「子どもを育てる活動は同じなんです」という感想をよくお聞きします。その二つに共通して流れるゆっくりとした自然のリズムを感じとられたのではと思います。とかく効率に支配される日常の中で、「子どもの森づくり運動」が、そんな自然の時間を子どもたちに提供する機会のひとつになればと願い、これからも活動を改善し、継続していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2. 「子どもの森づくり運動」第二期活動計画案

事務局としては、2011年度からの活動第二期においては、主に下記の内容で活動目標を設定し、活動方法を改善していきたいと考えております。まだ計画の段階ですが皆様に計画案を提示させていただき、ご意見ご提案を仰ぎたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

(1) 活動目標

- ① 2010年に構築されたフラグシップ園全国ネットワークの活性化と持続可能な運営体制づくりを目指します。
- ② 2010年の13園につづき、フラグシップ園全園の3年目の植樹活動を実現します。
- ③ 第一期に構築された実施園ネットワークに加えて、全国100園のオールジャパン体制づくりを目指します。

(2) 主な活動内容

事務局では、昨年ご協力いただきましたアンケートを参考に、上記活動目標を達成するため様々な活動サポート活動を計画中です。以下に、その主なものを紹介します。計画の段階ですので変更があり得ます。ご了承下さい。

① 幼少期の自然環境プログラム研修会全国ツアー

各フラグシップ園と「子森ネット」との共催で、近隣の園を対象とする「子どもの森づくり運動」を含む、幼少期の自然環境プログラム研修会全国ツアーを開催。

② ブロック別植樹フィールドづくり

全国10カ所程度のブロックごとに、「子どもの森づくり運動」の新規植樹フィールドを開設し、実施園にフィールド選びの選択肢として情報提供する。実施園からブロック別フィールドが遠距離の場合、子どもたちに代わってスタッフが植樹します。



③ 活動普及用デジタル絵本の作成

活動普及用ツールとして、「子どもの森づくり運動」オリジナルのデジタル絵本を作成、ホームページ等にて配信します。

④ 全国大会の開催

実施園相互の交流と情報交換を目的に、全国大会を開催します。

⑤ 「国際森林年」関連イベントへの参加

2011年「国際森林年」の年、世界的に森林育成の気運が高まり、国内においても様々な広報イベントが予定されています。「子どもの森づくり運動」としても、普及活動の一環として、「国際森林年」関連イベントと積極的にコラボレーションします。

3. 事務局からのお知らせ

(1)「エコプロダクツ2010」レポート

2010年12月9日(木)～11日(土)の期間、「東京ビッグサイト」において、国内最大の環境展「エコプロダクツ2010」が開催されました。「子森ネット」では、ご協賛企業「日本郵政グループ」ブース内において活動の広報を含むワークショップ「森のはがきにお絵かき」を実施しました。参加してくれた子どもたちに、「JP子どもの森づくり運動」の概要をお知らせするとともに、間伐材から作られた葉書に、森や木をテーマに自由にお絵かきしてもらいました。完成した絵葉書は、切手を貼ってブース内にある本物の郵便ポストに投函してもらいました。(協力: 洲野辺保育園 中目黒駅前保育園)



(2) 植樹フィールド調査アンケートご協力のお願い

昨年、今後の充実したサポート活動のための基礎データとして、植樹フィールドに関するアンケートをお送りしました。お忙しいところまことにお手数ですが、まだお送りいただけていない実施園におかれましては、ひきつづきご対応いただけますようお願い申し上げます。既にお送りいただいている場合はご容赦願います。

(3) 「ていばーく」出展のご案内

「JP子どもの森づくり運動」では、昨年にひきつづき今年も普及、広報活動の一環として「通信総合博物館・ていばーく」に、長期出展しています。会場では、2009年参加園の一年目の活動が紹介されています。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

- ・ 展示期間: 2010年2月27日まで 【9:00～16:00 / 月曜日休館(祝日の時は火曜日休館)】
- ・ 会場: 東京都千代田区大手町2-3-1 「通信総合博物館・ていばーく」(2階企画展示場)
- ・ 入館料(個人): 大人110円、小・中・高校生50円

※ 団体でご来館の際は、招待券の発行も可能ですので事務局宛お問合せ下さい。



●「ていばーく」アクセス



<アクセス>

東京都千代田区大手町2-3-1
大手町駅下車 A4・A5出口すぐ